令和５年度

古 典 探 究

１１　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択	4	１２	4	2

教　科　書	学習書・副教材等
高等学校 標準古典探究（第一学習社）	学習書：高等学校 標準古典探究学習課題集（第一学習社）

学　習　目　標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

学　習　内　容　・　学　習　計　画

（１）古文：説話「古今著聞集：小式部内侍が大江山の歌の事」　（第１回レポート）
（２）古文：物語「伊勢物語：初冠」　（第２回レポート）
（３）漢文：故事・寓話「助長」・「推敲」・「朝三暮四」　（第３・４回レポート）
（４）古文：随筆「枕草子：すさまじきもの」　（第５回レポート）
（５）漢文：不思議な世界「織女」　（第６回レポート）
　　（１）～（５）前期試験範囲

（６）古文：随筆「徒然草：よろづのことは頼むべからず」　（第７回レポート）
（７）古文：日記「更級日記：門出」　（第８回レポート）
（８）漢文：項羽と劉邦
　　「史記：鴻門の会（項羽、大いに怒る）（剣の舞）」　（第９・10 回レポート）
（９）古文：物語「源氏物語：光る君誕生」　（第 11 回レポート）
（10）漢文：漢詩の鑑賞「中国の詩」　（第 12 回レポート）
　　（６）～（10）後期試験範囲

学　習　方　法

【レポート】日本の古典の中心をなす中古から中世にかけての作品と、漢文を読みます。「読む」ために、古文は現代仮名遣いに直すこと、漢文は書き下し文に直すことが重要です。古語の意味や現代語訳、問は教科書と学習課題集を読んで解答してください。くまなく読めば解答できるはずです。
【授業】本文内容の解説を中心に進めます。文法的なものは学習課題集では理解しがたいものもあるので、授業で説明を付け加えます。また、レポートで扱わない単元も学習します。
【試験】試験には主にレポートの学習内容を確認する問題を出します。また、授業で強調した所は試験に出やすい所です。授業にできる限り出席することが成績アップにつながります。

評　価　規　準　と　評　価　方　法

レポートの評価、試験の成績を総合して評価します。１２回のレポートすべてを合格し、授業に最低４時間出席し、２回の試験の平均点が３０点以上であるならば、単位が認定されます。毎回のレポートの提出期限を守っていれば、レポートの評価は高くなります。レポートの評価は次の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身につけている。	古典を読んで、内容および思想や感情を構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。	古典に対する知識を深め、作品の内容について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとしている。

担　当　者　よ　り　一　言

古典は作品を声に出して読むことが重要ですが、スクーリング時にその時間をとることは難しいので、まずは自分で何度も読んでください。そして、作品全体の雰囲気をつかんでください。解釈は、学習課題集の「展開の把握」等を読んで理解しましょう。ただし、現代語訳を確認するだけでは作品のおもしろさは伝わりません。解説まできちんと読み、登場人物の心情、作者の意図などが分かるとより一層おもしろくなります。また、レポートは一回一回の期限をきちんと守ったほうが単位は取りやすくなります。余裕を持って取り組みましょう。